

2021年3月26日

診療科長 医局長  
 病棟医長 外来医長  
 中央診療施設副部長 殿  
 看護部長 看護師長  
 事務部長

検査部 外注検査作業室

検査部回報2021- No.16

外注項目検査内容変更のお知らせ

外注業者より、下記項目におきまして検査内容変更の連絡がありましたのでご案内いたします。

記

- 変更項目：
- ・血中/尿中アルドステロン
  - ・トリプシン
  - ・ループスアンチコアグラント
  - ・抗 RNP 抗体
  - ・ALP アイソザイム
  - ・LD アイソザイム
  - ・クレアチン（血清）

変更日：2021年4月1日（木）受付分より

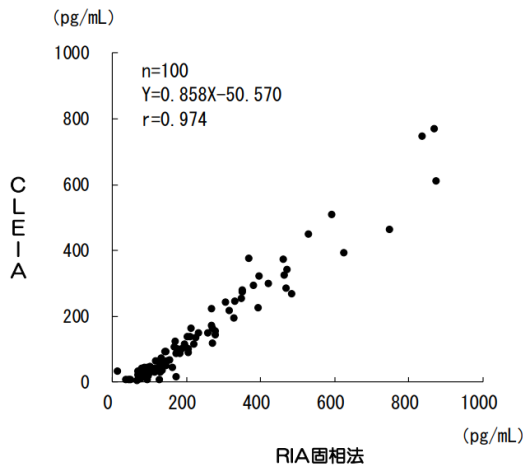
- 血中/尿中アルドステロン -----  
 試薬変更に伴い、測定原理と基準値が変更になります。

	旧		新	
測定原理	RIA 固相法		CLEIA	
基準値	血清・血漿 (pg/mL)	蓄尿 ( $\mu$ g/day)	血清・血漿 (pg/mL)	蓄尿 ( $\mu$ g/day)
	随時：35.7～240 臥位：29.9～159 立位：38.9～307	10 以下	4.0～82.1	1.0～19.3

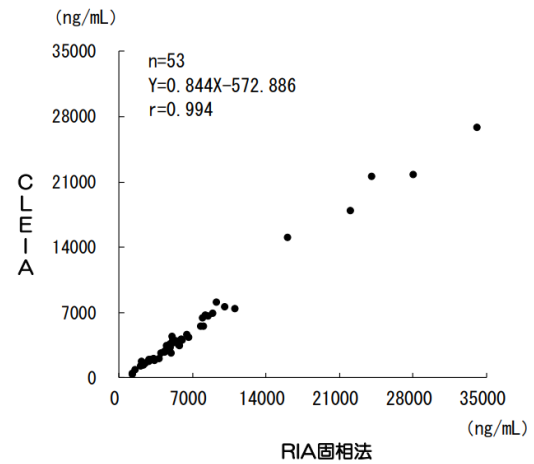
▼従来法との比較（出典：SRL NEWS 2021-08）

●**相関**

血漿・血清



尿



※**留意事項**

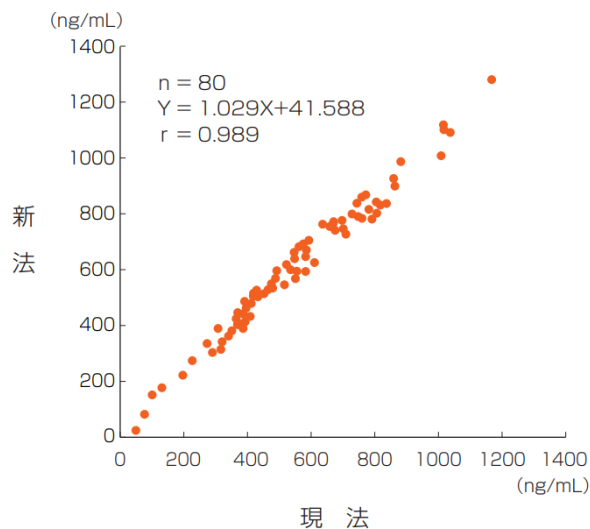
- ・採血時間は午前が推奨されています。
- ・採血は座位で15分間安静後をお勧めいたします。

●**トリプシン** -----

試薬変更に伴い、測定原理・基準値・報告範囲が変更になります。

	旧	新
測定原理	ELISA	ラテックス凝集比濁法
基準値（単位）	100～550 (ng/mL)	210～570 (ng/mL)
報告範囲	50 未満、50～99900000	30 未満、30～99900000

▼従来法との比較（出典：SRL NEWS 2021-04）

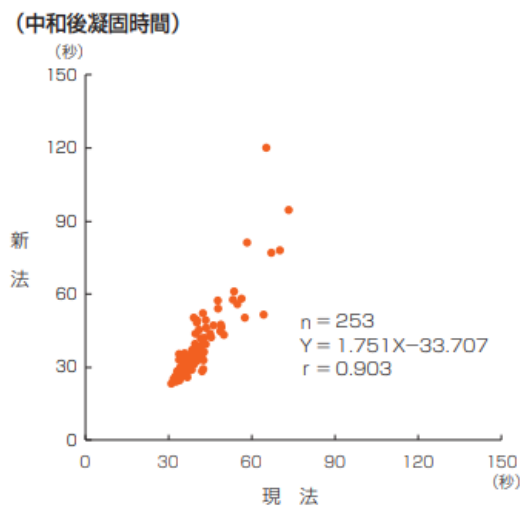
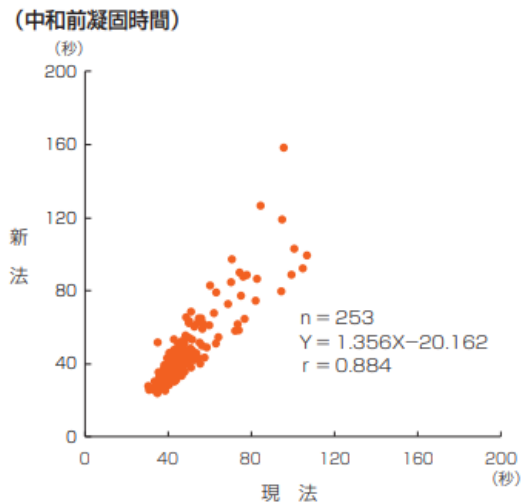
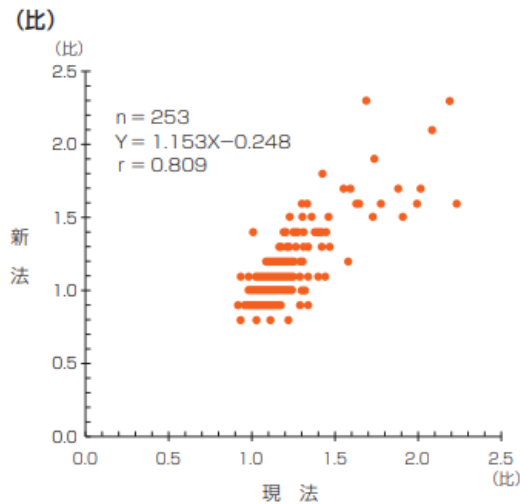


●ループスアンチコアグラント -----

試薬変更に伴い、基準値・報告範囲が変更になります。

	旧	新
測定原理	希釈ラッセル蛇毒時間法	変更なし
基準値	1.3 未満	1.2 以下
報告範囲	0.07 以下、0.08~14.99、 15.00 以上  【中和前凝固時間】 10.0 以下、10.1~149.9、 150.0 以上（秒）  【中和後凝固時間】 10.0 以下、10.1~149.9、 150.0 以上（秒）	0.1~99.9  【中和前凝固時間】 16.0 未満、16.0~239.9、 240.0 以上（秒）  【中和後凝固時間】 6.0 未満、6.0~120.9、 121.0 以上（秒）

▼現法と新法の比較（出典：SRL NEWS 2021-04）



●相関一致表

		現法	
		陰性 (-)	陽性 (+)
新法	陰性 (-)	194	9
	陽性 (+)	16	34

判定一致率：90.1% n=253

## ●抗RNP抗体

試薬変更に伴い、測定原理・基準値・報告範囲が変更になります。

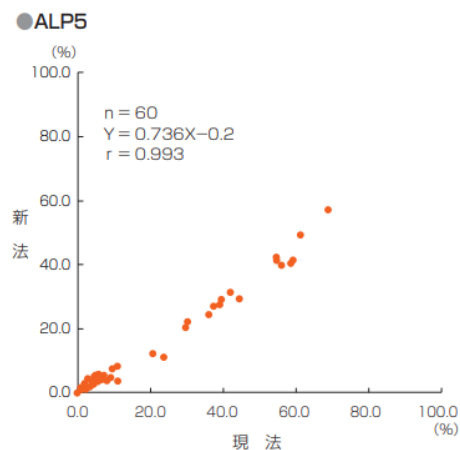
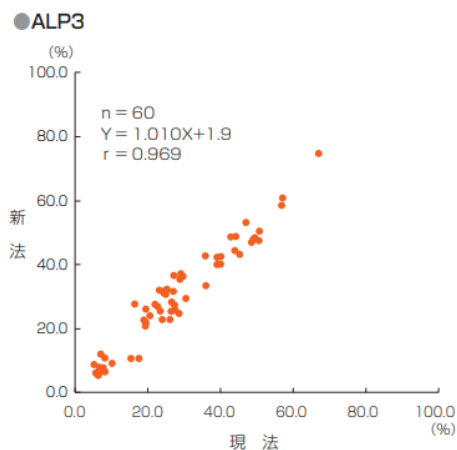
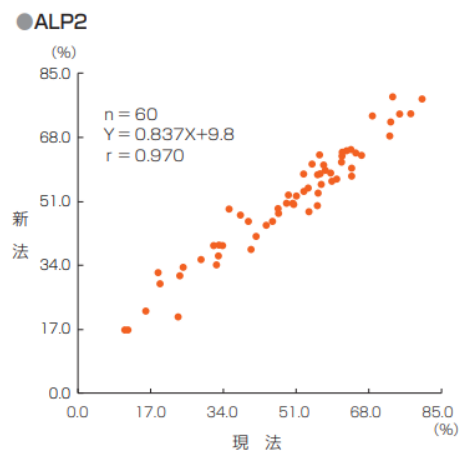
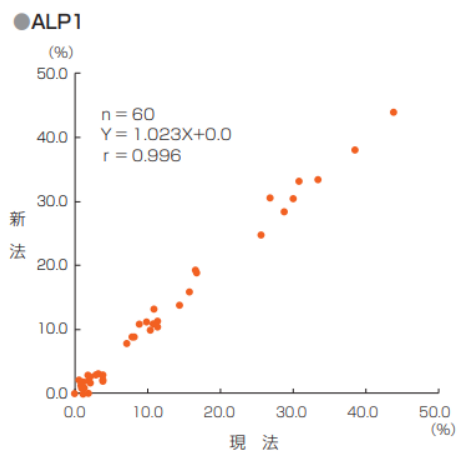
	旧	新
測定原理	ELISA	CLEIA
基準値	15.0 未満 (U/mL)	10.0 未満 (U/mL)
報告範囲	5.0 未満、5.0~299、 300 以上	2.0 未満、2.0~549、 550 以上

## ●ALP アイソザイム

IFCC 法に準拠した試薬への変更に伴い、基準値が変更になります。

	旧	新
測定原理	電気泳動法（アガロース膜）	変更なし
基準値 (%)	ALP1 : 36~74 ALP2 : 25~59 ALP5 : 0~16	ALP1 : 0.0~5.3 ALP2 : 36.6~69.2 ALP3 : 25.2~54.2 ALP5 : 0.0~18.1

▼現法と新法の比較（出典：SRL NEWS 2021-04）



●LDアイソザイム

活性値をIFCC法で測定します。基準値が変更になります。

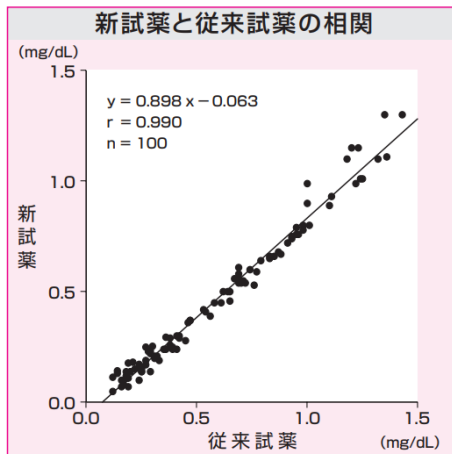
	旧	新
測定原理	電気泳動法（アガロース膜）	変更なし
基準値	LD1：20～32 LD2：28～35 LD3：21～27 LD4：6～13 LD5：4～14 総活性値：120～245	LD1：20.0～31.0 LD2：28.8～37.0 LD3：21.5～27.6 LD4：6.3～12.4 LD5：5.4～13.2 総活性値 120～245
分画値（%）	LD1 定量：24～78 LD2 定量：34～86 LD3 定量：25～66	LD1 定量：24～76 LD2 定量：35～91 LD3 定量：26～68
定量値（U/L）	LD4 定量：7～32 LD5 定量：5～34 Hサブユニット：55～70 Mサブユニット：30～45 LD1/LD2：0.65～1.00 LD3/LD1：0.65～1.25 LD5/LD4：0.45～1.30	LD4 定量：8～30 LD5 定量：6～32

●クレアチン（血清）

試薬変更に伴い、基準値が変更になります。

	旧	新
測定原理	酵素法	酵素法
基準値	0.3～1.2（mg/dL）	0.2～1.0（mg/dL）

▼現法と新法の比較（出典：BML Information 2021-2）



上記についてのお問い合わせは、外注検査作業室（内線7254）までお願い致します。